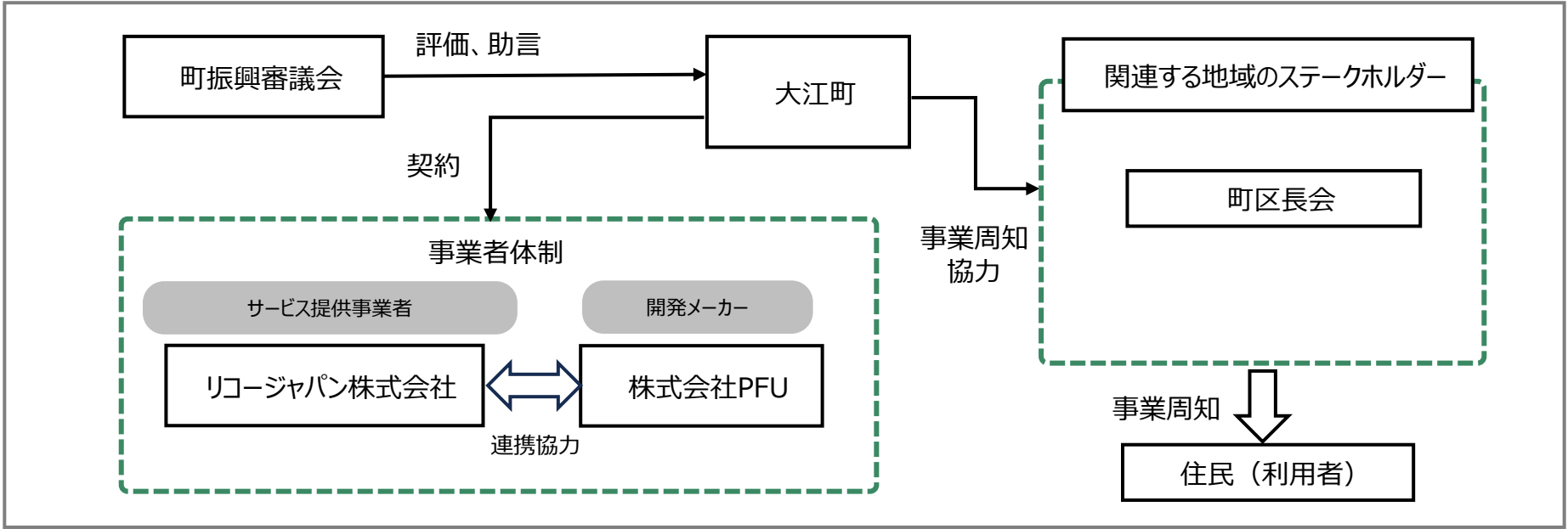


事業概要 【「書かない窓口」システム導入事業】

自治体名	山形県大江町	人口	7,062人 ※R6.12末	事業費	4,000千円 (うち交付金充当額2,000千円)
事業概要	高齢化率が41.98%と県内でもトップクラスの本町は、窓口において目的ごとの申請書に住所、氏名、生年月日等を記入することが、来庁者の負担となっていると同時に、待ち時間の増加につながっている状況である。 令和7年度からはマイナンバーカードの更新や電子証明書の更新などの手続きが急増するため、高齢者本人が来庁し手続きしなければならないものが増える見込みである。そこでマイナンバーカード等の本人確認書類をかざすだけで、住所、氏名等の情報が転記される申請書作成支援機器の導入し、「書かない窓口」を実現することで、来庁者の負担軽減と利便性の向上、待ち時間・滞在時間の短縮を図る。				
具体サービス・事業費内訳	【申請書作成システム】 ・ マイナンバーカード等から個人情報を読み取り、申請書等に住所、氏名等を自動印刷する。 ・ 顔認証機能付きのため、窓口で行っている本人確認も同時に行うことができる。 ・ 来庁者は申請書の印刷後に職員の聞き取りにより、チェック欄へのチェック入力や必要数量等の記入など、簡単な補記で提出することができる。 ・ 既存システムとの接続が不要であり、申請書も既存の物をそのまま利用できるため、住民・職員とも戸惑うことが少なく、スムーズな導入、運用が見込まれる。 ・ マイナンバーカードの他、運転免許証、在留カード、運転経歴証明書にも対応しているため、幅広い住民の利用が見込まれる。 【事業費内訳】 ・ 機器一式（カウンター設置）（委託）1,503千円 ・ 機器一式（通路設置用）（委託）1,527千円 ・ 書かない窓口システム設置費（委託）970千円 ■ システム利用の流れ サービスイメージ  タブレットPCで必要な申請書の種類を選択。 顔認証付き本人確認装置で本人確認書類の読み取りと顔認証を行う。 個人情報が記載済みの申請書が印刷されるので、必要事項を追記し窓口へ提出する。 ■ 利用可能な身分証明書  マイナンバーカード 運転免許証 運転経歴証明書 在留カード 特別永住者証明書				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 「書かない窓口」システム利用者割合 【アウトカム指標（成果指標）】 「書かない窓口」システムの利用満足度				

■ 事業推進体制



名称	役割
大江町	- 事業計画立案 - 報告書作成をはじめとする事業全般の管理
リコージャパン株式会社	- サービス提供、構築、保守 - 職員研修会の実施
PFU株式会社	- 書かない窓口サービスの新機能紹介 - 他自治体での運用事例の紹介
町区長会	事業サービスの町民への周知

名称	役割
町振興審議会	事業内容、満足度調査内容を聞き取りし、事業の評価と改善に向けた助言を行う